

歴史のなかの 「あこがれ」の 住まいと暮らし

2021 年 7 月 30 日 (金) 13:30 ~ 17:00

建築会館 ホール (東京都港区芝 5-26-20) および オンライン (Zoom)

趣旨説明

後藤治 (工学院大学教授)

講演

【第 1 部】

藤田盟児 (奈良女子大学教授)

「平等へのあこがれと和室の誕生」

後藤克史 (明治大学客員研究員)

「インド・ムンバイにおける
アールデコ様式住居へのあこがれ」

【第 2 部】

山本理奈 (成城大学准教授)

「高度成長期の住まいと暮らしから
「あこがれ」を考える」

島原万丈 (LIFULL HOME'S 総研 所長) 「日本とデンマークの比較でみる

「幸福な暮らし像」

鈴木あるの (京都橘大学教授)

「外国人から見た ” 和 ” の住まい」

討論

司 会 後藤治

パネリスト 藤田盟児、後藤克史、山本理奈

島原万丈、鈴木あるの

企画 住総研「あこがれの住まいと暮らし」研究委員会

主催 一般財団法人 住総研

登壇者、講演テーマは変更になる場合がございます。

参加方法 会場およびオンライン (ZOOM)

定 員 会場参加 60 名 / オンライン参加 80 名

参 加 費 会場参加：無料 オンライン参加：無料

※会場では募金へのご協力をお願いします。募金は支援金として被災地等にお送りします。

申し込み・詳細 <http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>

問合せ

一般財団法人 住総研

e-mail sympo@jusoken.or.jp

TEL 03-3275-3078 / FAX 03-3275-3079

東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 2 階

「あこがれ」から「流行」へ。さらに次の段階へ……。今回は歴史を含めて見た過去と現在のさまざまな「あこがれ」の住まいと暮らしを抽出し、その「流行」や「様式（スタイル）」形成のメカニズムにも触れながら、将来の住まいや暮らしの在り方にどう生かせるのかを議論したい。

第 1 部では、「和室」が、祖型が中世（室町時代）に出来上がり、様々な流行の結果、住宅の部屋として、各地に多数普及した普及過程を例に、「住まい」における「あこがれ」の形成と「流行」を考察する。次に海外の「あこがれ」の具体化の類例として、インド・ムンバイのアールデコ様式の事例を紹介する。

第 2 部では、現代の「あこがれ」の住まい像を、高度成長期からの意識の変化や国際比較アンケート等によって確認し、直近の日本人の「住まい」の具体像が希薄になっていることやその要因、日本における現代の住まいと暮らしの特徴を考える。

パネルディスカッションでは、「住まい」像が希薄化していることを前提に、今後の「あこがれ」の住まいや暮らしの形はどうなるのかを議論したい。



後藤治



藤田盟児



後藤克史



山本理奈



島原万丈



鈴木あるの

■ 申込方法

ホームページの申し込みフォームにご記入の上、お申し込みください。

住総研 HP (<http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>)

※会場での参加をご希望の方は、当日は必ずマスクを着用してご来場下さい。

※会場にお越しの際は、検温並びにアルコール消毒へのご協力をお願い致します。

※体調のすぐれない方、海外から帰国後 14 日経過しない方の参加はご遠慮下さい。

※オンラインでの参加の方は、録音・録画・撮影（スクリーンショット）はご遠慮下さい。

■ 申込締切日

7 月 23 日（金）まで

■ お問い合わせ

一般財団法人 住総研

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 2 階

E-mail sympo@jusoken.or.jp

TEL 03-3275-3078 / FAX 03-3275-3079

■ 会場：建築会館



JR 田町駅
三田口徒歩 3 分
都営地下鉄三田駅
A3 出口徒歩 3 分

予告 第 57 回住総研シンポジウム

現代日本の住まいと暮らし

—あこがれと現実のはざま—

2021 年 11 月 24 日（水）13:30 ~ 17:00（予定）

建築会館 ホール（東京都港区芝 5-26-20）（予定）

※詳細は後日 HP にて公開致します。